平成25年3月期　第2四半期

決算短信資料

2012年10月22日(月)

カゴメ株式会社(2811)

http://www.kagome.co.jp/company/ir/index.html

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績（平成25年3月期　第2四半期累計期間）

単位：億円

	10年度	11年度	12年度			7/12	4/26
				対11年度		対公表	対公表
				増減	増減率	増減	増減
売上高	985	943	1,059	＋115	＋12%	▲11	＋59
営業利益	61	57	75	＋18	＋31%	▲5	＋11
率	6.2%	6.1%	7.1%				
経常利益	63	60	79	＋18	＋31%	▲3	＋13
率	6.4%	6.4%	7.4%				
純利益	37	30	57	＋26	＋88%	＋1	＋18
率	3.7%	3.2%	5.4%				

億円未満は四捨五入

・増収増益であり、経常利益・純利益は過去最高となった。
・営業・経常利益は、7月に修正した公表値には届かなかった。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

11年度・12年度の収益への影響要因

東日本大震災

11年度に大きな供給制約を受け、売上が減少した。
販売促進費・広告宣伝費などの費用は結果的に減少した。
いわき小名浜菜園の収益が大幅に悪化した。

事業の整理

・11年度に10年度比で六条麦茶・チルドデザートの売上が減少した。
・12年度中に自社ブランドの自販機展開から撤退する。

海外事業

・11年度にオーストラリアの水害の影響を大きく受けた。
・12年度の第1四半期末にポルトガルのH.I.T.社を子会社化した。

トマトブーム

・11年度の2・3月に特需があった。
・12年度は上半期を通じて好影響を受けた。

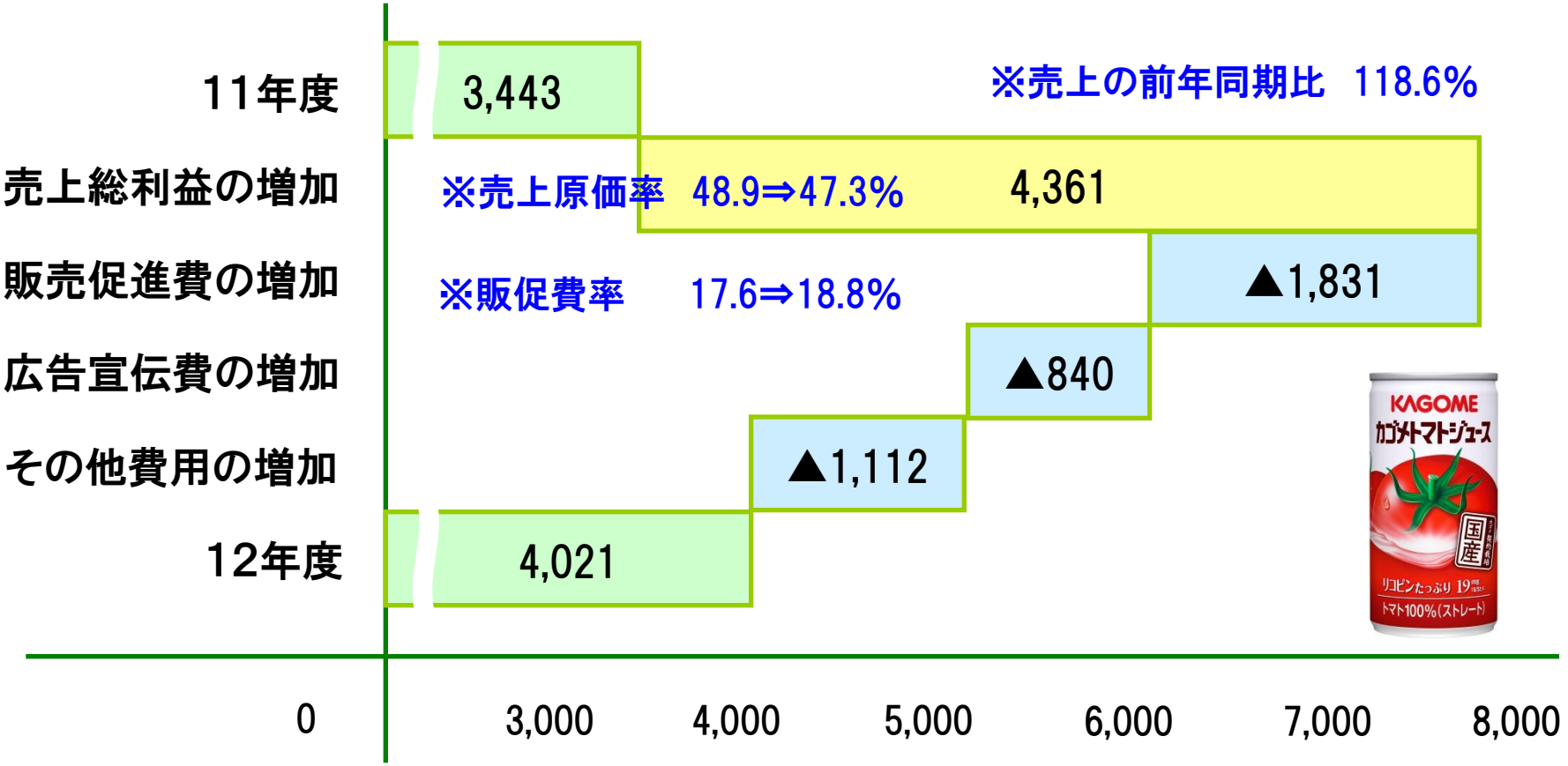
11年度には一過性のマイナス要因が多くあった。
12年度はトマトの需要増加がプラス要因となった。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

営業利益増減要因(個別)

単位:百万円(以下四捨五入)

◆第1四半期(4～6月)



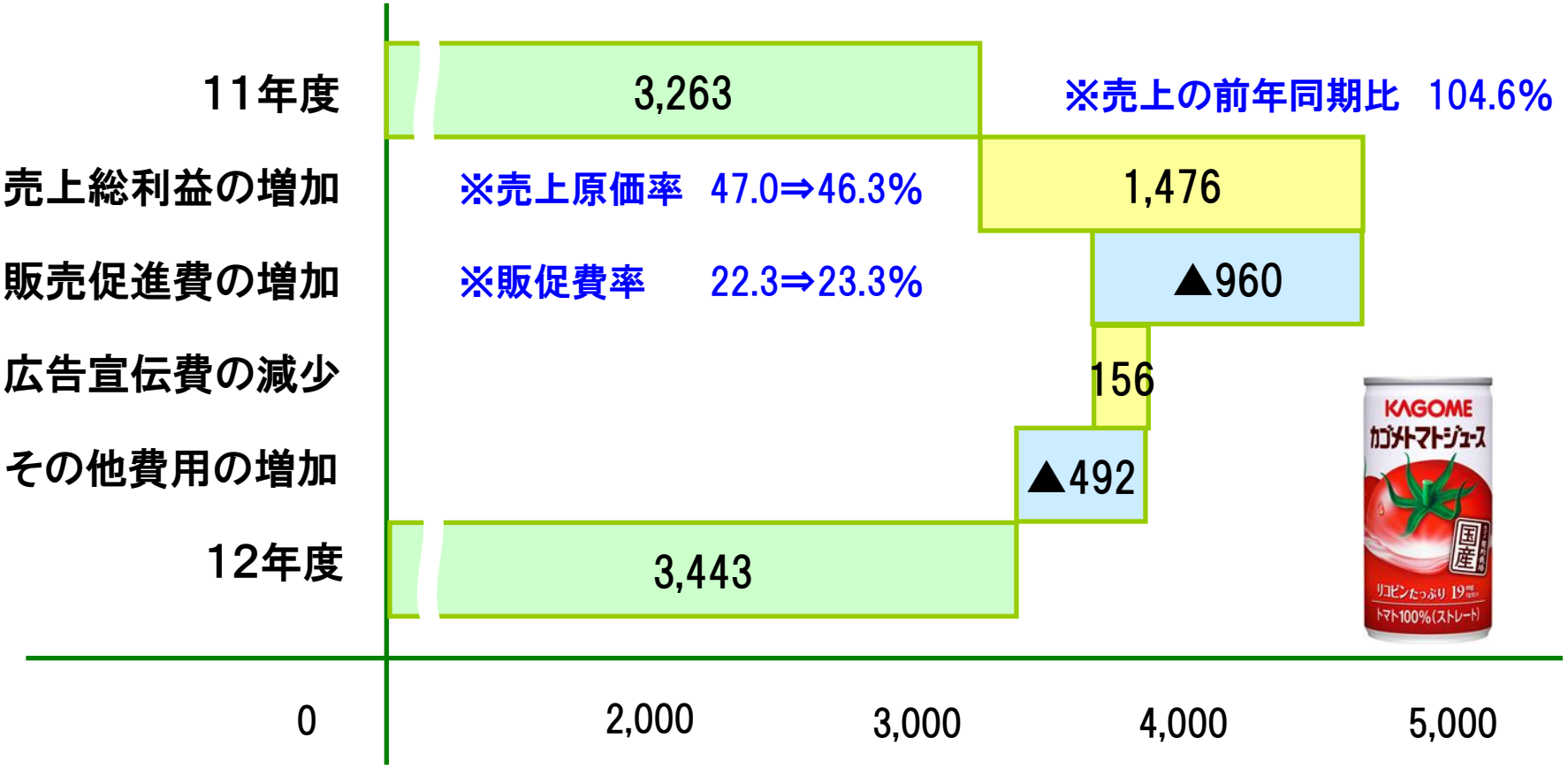
・震災からの回復により、大幅に増収し、費用も増加した。
・トマト関連商品の伸長などにより、計画を大きく上回る増益となった。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

営業利益増減要因(個別)

単位:百万円(以下四捨五入)

◆第2四半期(7~9月)



・増収＆費用の増加という基本的な構造は第1四半期と同じ。
・前年同期を少し上回る利益となった。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

業績予想との差異

◆第2四半期の個別の業績

7月の売上

計画に対し4%の未達だった（前年同月比は3%の増加）。
・夏場の競争が激しくなる中、トマトジュースは変わらず好調だったが、野菜生活などで販促機会の減少が見られた。
・中元ギフトにおいて、競合が供給力を回復させてきた。
→ 8月：店頭の販促テーマを増やした。
9月：季節限定商品を増やした。
などにより、8月以降は計画どおりの売上がとれている。

販促費

・販促費率の高い商品の構成比が増えた。
・好調だった第1四半期の業績を受けて表れる販促費などの考察不足があった。

その他の費用

・第1四半期に計画していた費用を遅れて活用した。
・追加的な投資があった。

・好調だった1Qを受けた2Qの計画が、やや高かった。
・上半期を通じての、基本的な活動の方向性は正しく、業績にも表れた。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績（平成25年3月期　第2四半期累計期間）

◆個別と連結の業績

単位：億円

	10年度		11年度		12年度	
	個別	連結	個別	連結	個別	連結
売上高	904	985	846	943	939	1,059
営業利益	60	→ 61	67	↘ 57	75	→ 75
率	6.6%	6.2%	7.9%	6.1%	8.0%	7.1%
経常利益	64	63	70	60	78	79
率	7.1%	6.4%	8.3%	6.4%	8.4%	7.4%
純利益	39	37	42	30	51	57
率	4.3%	3.7%	5.0%	3.2%	5.4%	5.4%

億円未満は四捨五入

・連結では、いわき小名浜菜園とカゴメオーストラリアが天災から回復し、上半期においては個別と単体の利益がほぼ同額となった。
・受取賠償金、負ののれんの計上により、連結純利益が増加。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

事業別売上高（平成25年3月期　第2四半期累計期間）

◆国内

単位：百万円

	10年度	11年度	12年度	対11年度 増減	対11年度 増減率
飲料	50,862	46,923	53,253	＋6,330	＋13%
食品	14,926	14,033	13,659	▲374	▲3%
ギフト	5,297	5,213	5,428	＋215	＋4%
生鮮野菜	3,991	3,879	5,206	＋1,327	＋34%
メディア通販	3,819	2,848	4,035	＋1,187	＋42%
国内ｺﾝｼｭｰﾏｰ事業	78,897	72,897	81,583	＋8,686	＋12%
国内業務用	11,959	11,951	12,795	＋844	＋7%
国内その他	7,081	7,018	7,547	＋529	＋8%
国内小計	97,938	91,867	101,926	＋10,059	＋11%

・飲料　　野菜飲料が牽引。トマトジュースの貢献が大きい。
・食品　　唯一の減少。トマト味の需要を創る活動を粘り強くおこなっていく。
・ギフト　ギフト専用商品が好調。
・生鮮　　小売店での飲料や食品との共同展開が進む。
・通販　　お客様の数は震災前水準に回復した。
・業務用　大手顧客に対する営業力強化の成果などが表れた。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

野菜飲料　需要創造の取り組み

◆トマトジュース一斉出荷

8月上旬



◆野菜の日

8月下旬



◆野菜生活100　期間限定商品





テレビCM



「地産全消」
を商品で具現化

・8月には、上旬「新物一斉出荷」と下旬「野菜の日」の2テーマを展開。
・9月には野菜生活の期間限定商品を2品同時に発売。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

事業別売上高(平成25年3月期　第2四半期累計期間)

◆海外

単位:百万円

	10年度	11年度	12年度	対11年度	
				増減	増減率
米国	5,091	4,749	5,337	＋588	＋12%
欧州	686	766	2,214	＋1,448	＋189%
アジア	1,156	1,261	1,190	▲71	▲6%
豪州		1,995	2,390	＋395	＋20%
海外小計	6,933	8,773	11,133	＋2,360	＋27%

- 米国　　大手フードサービス顧客向けの出荷が順調。
- 欧州　　ポルトガルのH.I.T.社の子会社化により増加。
- アジア　　台湾では長雨の影響を受けた。新規事業での成長はこれから。
- 豪州　　大規模な水害から回復。

◆連結

	10年度	11年度	12年度	対11年度	
				増減	増減率
セグメント間取引	▲6,353	▲6,301	▲7,183		
連結(国内＋海外)	98,519	94,339	105,876	＋11,537	＋12%

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

中期定量目標と12年度経営課題

◆定量目標

連結売上高　　2012年度　2,000億円
→1,950億円を目指す

連結経常利益率　　安定的に4％
→5％での達成を見込む

◆中期計画の達成を踏まえた12年度の経営課題

①　売上の再成長

1）国内既存事業での新たな需要創造
～　マーケティング力強化
2）新たなチャネルの開発
3）海外におけるマルチリージョナルな成長

②　「新たな課題」への対応

1）社会的責任
・企業市民　・グローバルBCM　・ダイバーシティ
2）株主への利益還元

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

国内既存事業での新たな需要創造

◆トマトには、引き続き熱い視線が注がれている

アサヒグループ・カゴメ共同研究
「トマトが血中アルコール濃度を低下」



アサヒビール㈱
期間限定商品



・鈴鹿医療科学大学・カゴメ共同研究
「トマトジュースが運動の疲労を軽減」
・マラソン藤原選手のスポンサーに

トマトジュースレシピ本



トマトジュース発売80年





マンチェスター・ユナイテッドと
日本での公式飲料スポンサー契約

・トマトブームは一過性ではなく、トマトという食品が迎えた節目であり、
トマトの価値が一つ上のステージに上がった。
・商品・店頭・情報を連動させて、それを持続的な成長に繋げる。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

海外におけるトピックス

◆タイに新会社を設立し、健康飲料・食品を事業展開

OSOTSPA KAGOME

・会社名
OSOTSPA KAGOME CO.,LTD.
・設立日
2012年9月21日
・所在地　タイ（バンコク）
・資本金
235百万バーツ（約588百万円）
・出資比率

カゴメ㈱	43%
Osotspa Co.,Ltd.	42%
伊藤忠商事㈱	15%

◆中国・オフィス給食事業にて北京に新店舗をオープン



・リージョン毎に異なる食文化に合わせ、事業はマルチリージョナルに展開。
・一方でグループシナジー発揮のため、一体感のあるマネジメントを進める。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

社会的責任

① 企業市民



◆みちのく未来基金
・第1期生は94名が進学
・第2期生は109名がエントリー
・10月14日に設立1年を迎えた

◆東北農業復興支援
・仙台東部地域6次産業化
・被災地でのジュース用トマト栽培

② グローバルBCM

・茨城工場　東日本におけるチルド生産設備の投資　13年1月稼働予定。
・台湾の子会社から日本への業務用ケチャップの供給をおこなう。

③ ダイバーシティ

12年度も外国（中国）籍・既卒者を対象とした9月入社を活用。

現中期計画の完成を目指すとともに、
13年度からの3ヶ年の中期計画の策定も進んでいる。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績見通し(平成25年3月期)

◆通期

単位:億円

	10年度	11年度	12年度	7/12		
				対11年度		対公表
				増減	増減率	増減
売上高	1,813	1,800	1,950	＋150	＋8%	±0
営業利益	80	85	94	＋9	＋11%	▲6
率	4.4%	4.7%	4.8%			
経常利益	84	92	99	＋7	＋8%	▲5
率	4.6%	5.1%	5.1%			
純利益	25	42	65	＋23	＋54%	±0
率	1.4%	2.3%	3.3%			

億円未満は四捨五入

・売上は公表値を据え置き、年度課題である「売上の再成長」を目指す。
・第2四半期の業績を受け、利益目標は修正する。
・経常利益は3年連続で過去最高を目指す。純利益も過去最高を目指す。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.

注意事項

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見通しのみに全面的な依拠することは控えるようお願い致します。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、以下のようなものが含まれます。すなわち、①天候、特に夏場の低温 ②異物混入等の製品事故 ③カゴメの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向 ④変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますので注意ください。

Copyright © KAGOME CO.,LTD. All rights reserved.